# AS-3370G 取 扱 説 明 書

2013年02月27日第1.02版

山下システムズ株式会社大阪エム・アイ・エス株式会社

#### 安全にご使用いただくために

本製品は安全に十分配慮して設計を行っていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守って下さい。

#### 🛕 警告

- 製品の分解や改造等は、絶対に行わないでください。
- ●無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることは行わないでください。
- ●製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため、 使用しないでください。

#### ⚠ 注意

- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、磁気を帯びた物の近くで保管しないでください。
- ●煙や異臭が発生した場合は、直ちに本製品の電源を切り、電源ケーブルも外してください。
- ●取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、充分注意して作業を行わないでください。
- ●配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

#### 製品保証

- ●保証期間はご購入後3年間です。
- ●本製品の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害の責については負いかねます。
- ●保証期間中は、保証範囲に従って修理または交換させて頂きます。
- ●保証期間が過ぎている場合は、ご要望により有償修理させて頂きます。ただし、不具合内容によっては修理不可能な場合があります。

以下の場合は保証期間内であっても有償または保証対象外となります。

- ●納入後の輸送時の落下衝撃等により生じた故障・破損。
- ●取扱説明書または納入仕様書に記載された警告/注意事項に反する取扱による故障・破損。
- ●落雷・火災等の天災、災害による故障・破損。異常電圧、周波数等による故障・破損。
- ●当社以外での修理または、改造。
- ●ソフトウェアのバグ・不具合による故障・破損。

#### はじめに

このたびは、AS-3370G をご購入いただき、ありがとうございます。

AS-3370G は、Intel GMA 3150 グラフィックス内蔵の Dual-core CPU、Intel Atom D510 を搭載した PICMG 規格準拠の CPU ボードです。ビデオ(Analog RGB & LVDS), Gb Ethernet, シリアル(RS232C x1, RS232C / RS422 / RS485 切替 x1), FDD,PATA,CF,SATA, mSATA,USB を搭載しております。

本製品は、充実した I/O, 低消費電力, といった特長により、幅広い応用が可能な組み込み CPU ボードとなっております。

	<b>♦</b>	•	<b>♦</b>	寸法図	•	<b>♦</b>	•	
--	----------	---	----------	-----	---	----------	---	--

D2400613.PDFAS-3370G 外形寸法図D2400614.PDFAS-3370G コネクタ寸法図D2400615.PDFAS-3370G パネル側寸法図

 <b>•</b>	<b>♦</b>	•	改版履歴	•	•	<b>•</b>
 <b>•</b>	•	•	改版履歴	•	•	<b>•</b>

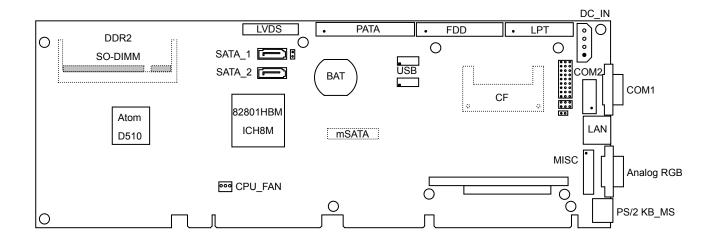
版数	発行日	事由
第 1.00 版	2011.12.26	初版
第 1.01 版	2012.04.19	DC+12V について追記
第 1.02 版	2013.02.27	シルク変更に伴いジャンパー設定修正

## \_\_\_\_\_ ♦ ♦ ♦ 目次 ♦ ♦ \_\_\_\_\_

1	製品仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1-1	AS-3370G レイアウト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1-2	機能仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・!
1-3	ブロックダイアグラム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1-4	システムリソース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1-5	電源仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1-6	環境仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1-7	構造仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2	コネクタ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
2-1	外部のコネクタ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
2-2	内部のコネクタ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
2-3	ジャンパー設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3	SYSTEM BIOS · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
3-1	BIOS 設定: Standard CMOS Features ・・・・・・・・・・・・20
3-2	BIOS 設定: Advanced BIOS Features ・・・・・・・・・・・24
3-3	BIOS 設定: Advanced Chipset Features ・・・・・・・・・・・28
3-4	BIOS 設定: Integrated Peripherals ・・・・・・・・・・・・30
3-5	BIOS 設定: Power Management Setup · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
3-6	BIOS 設定: PnP/PCI Configurations ・・・・・・・・・・・・・30
3-7	BIOS 設定: PC Health Status ・・・・・・・・・・・・・・3
3-8	BIOS 設定: Frequency / Voltage Control ・・・・・・・・・・・・・・38

#### 1 製品仕様

## 1-1 AS-3370G レイアウト



<sup>\*</sup>DDR2 SO-DIMM,CF,mSATA は基板裏面に配置されています。

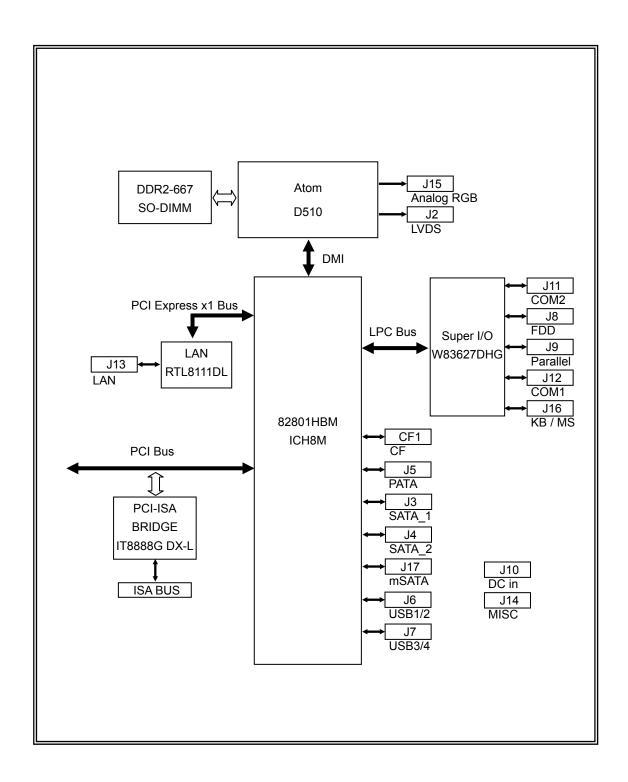
## 1-2 機能仕様

項目	仕 様			
CPU	Intel Atom D510 Processor (1.66GHz)			
CPU	L1: 32KB x2 + 24KB x2 , L2: 512KB x2			
Chip Set	Intel NH82801HBM(ICH	I8M)		
System Memory	DDR2-667 PC2-5300 D	DR2 SO-DIMM* Max 2GB		
	コントローラ	Intel Atom D510 Processor		
Video I/F	VRAM	Unified Memory		
Video 1/1	表示方式(最大解像度)	Analog RGB(1920x1200)		
	我小刀以(敢八胜似皮)	LVDS(1024x768)		
		CF Socket : Type I , True IDE Mode		
Storage I/F	Intel NH82801HBM	PATA 40Pin(39Pin) ATA コネクタ		
Storage 1/F		SATA2 3Gb/s コネクタ x2		
		mSATA コネクタ		
		Serial Port RS232C(9Pin Dsub)		
	Super I/O	RS232C/RS422/RS485(Header)**		
I/O I/F	W83627DHG	Parallel Port SPP / EPP / ECP 対応		
	WOJOZYDIIG	FDD		
		Keyboard / Mouse		
LAN I/F	Realtek RTL8111DL	1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T		
USB	Intel NH82801HBM USB2.0 (Header x4)			
MISC	Reset Switch, Power LED, HDD LED, Beep Out			
RTC & CMOS RAM	MC146818 コンパチブル ボード上のリチウム電池にてバックアップ			

<sup>\*</sup> PC2-6400 を使用した場合でも最大転送速度は約 5.33GB/s となります。

<sup>\*\*</sup> 切替にて 1Port の使用となります。

#### 1-3 ブロックダイアグラム



#### 1-4 システムリソース

IRQ MAP

Controller-1	Controller-2	リソース
IRQ0		System Timer
IRQ1		Keyboard
IRQ2		Controller-2 Cascade
	IRQ8	Real Time Clock
	IRQ9	PCI / ISA
	IRQ10	PCI / ISA
	IRQ11	PCI / ISA
	IRQ12	Mouse
	IRQ13	CoProcessor
	IRQ14	IDE
	IRQ15	IDE
IRQ3		COM2
IRQ4		COM1
IRQ5		PCI / ISA
IRQ6		FDD
IRQ7		LPT1

#### 注 1. 高優先順に表記

注 2. PCI / ISA はボード上のデバイスも使用 ISA BUS カードに割り当てる場合は BIOS の設定 (PnP/PCI Configurations⇒IRQ Resources)が必要

注 3. IRQ5/IRQ10 は BIOS デフォルト設定で ISA BUS に割り当て

#### DMA MAP

Controller-1	Controller-2	リソース
DMA0		PCI / ISA
DMA1		PCI / ISA
DMA2		FDD
DMA3		PCI / ISA
	DMA4	Controller-1 Cascade
	DMA5	PCI / ISA
	DMA6	PCI / ISA
	DMA7	PCI / ISA

#### 注 1. 高優先順に表記

注 2. PCI / ISA はボード上のデバイスも使用 ISA BUS カードに割り当てる場合は BIOS の設定 (PnP/PCI Configurations⇒DMA Resources)が必要

## MEMORY MAP

00100000	SYSTEM MEMORY	
000FFFFF	SYSTEM BIOS	
000E0000	3131EM BIO3	
000DFFFF	Ext. BIOS	
000D0000	EXC BIOS	
000CFFFF	VIDEO BIOS	
000C0000	VIDEO BIOS	
000BFFFF	VIDEO MEMORY	
000A0000		
0009FFFF	CONVENTIONAL MEMORY	
00000000	CONVENTIONAL MEMORY	

## I/O MAP

アドレス	リソース
0000 – 000F	DMA コントローラ
0020 – 0021	割り込みコントローラ
0022 – 003F	PCI BUS
0040 - 0043	システム タイマ
0044 – 0047	PCI BUS
0060 – 0064	キーボード コントローラ
0070 – 0071	RTC
0072 – 007F	PCI BUS
0080 – 008F	DMA コントローラ
0090 – 009F	PCI BUS
00A0 - 00A1	割り込みコントローラ
00A2 – 00BF	PCI BUS
00C0 - 00DF	DMA コントローラ
00E0 - 00EF	PCI BUS
00F0 - 00FF	CoProcessor
01F0 - 01F7	IDE
01F8 – 01FF	Reserve
0270 – 027F	Reserve
0290 – 029F	Reserve
02F8 – 02FF	COM2
0378 – 037F	LPT
03B0 – 03DF	VGA
03F0 – 03F7	FDD
03F8 – 03FF	COM1
0400 – 04BF	Reserve
04D0 – 04D7	Reserve

アドレス	リソース
0500 – 051F	SMBus コントローラ
0778 – 077F	LPT
0800 – 088F	Reserve
0A78 – 0A7F	ISA PnP
0CF8 – 0CFF	Reserve
BC00 – BCFF	Reserve
D000 – D00F	Reserve
E000 – E00F	PCI Express
E400 – E40F	PCI Express
E800 – E81F	PCI Express
EC00 – EC1F	PCI Express
F000 – F01F	Reserve
F300 – F30F	ICH8M(SATA)
F400 – F41F	ICH8M(SATA)
F500 – F50F	ICH8M(SATA)
F600 – F60F	ICH8M(SATA)
F700 – F70F	ICH8M(SATA)
F800 – F81F	ICH8M(SATA)
F900 – F90F	ICH8M(SATA)
FA00 – FA1F	ICH8M(USB)
FB00 – FB1F	ICH8M(USB)
FC00 – FC1F	ICH8M(USB)
FD00 – FD1F	ICH8M(USB)
FE00 – FE1F	ICH8M(USB)
FF00 – FF0F	Graphic Accelerator

#### 1-5 電源仕様

電源電圧	許容範囲	平均消費電流	瞬間最大消費電流
DC +5V	±5%	1.9A	3.4A

注1 電源ユニットは、装置全体の消費電力を考慮し適切な容量の物をご使用ください。 大容量の電源ユニットの場合、装置全体の消費電力が少ないと電圧が正常に出力されない場合 があり、誤動作の原因となる場合があります。

注2 消費電流は下記条件における実測値です。

Windows XP にてストレステストを実施中の実測値

消費電流に含まれる部材

本体(PC2-5300,2GB)

Keyboard / Mouse

電源ラインをクランプ電流計、電流プローブにて測定

注3 電源ケーブルを本製品に接続してから、電源 ON にしてください。 電源 ON 状態にてケーブルを接続すると電圧スパイクが生じ本製品が破損する恐れがあります。

注 4 本製品からバックライト電源用として DC+12V を供給する場合、バス側もしくはペリフェラル 4pin(J10)から DC+12V の入力が必要です。

#### 1-6 環境仕様

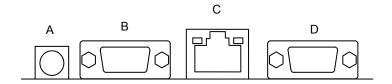
項目	仕 様
使用温度範囲	0 ~ 60℃:筐体内の放熱対策が施されていること
湿度範囲	20 ~ 80%: 結露せぬこと
腐食性ガス等	なきこと

#### 1-7 構造仕様

項目	仕様			
外形寸法	縦寸法 339mm: コネクタ張出部を含まず			
	横寸法	185mm: コネクタ張出部を含まず		
	高寸法	30mm: PCB 上面よりヒートシンク上面		
重量	450g以下 (パッ	ッシブ)		
(メモリモジュール除く)	380g 以下 (ファン付)			
PCB 材質等	FR-4(ULVO): 1	FR-4(ULVO): 1.6mm厚		

#### 2 コネクタ

#### 2-1 外部のコネクタ

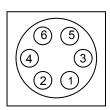


## A キーボードとマウスポート(J16)

キーボード/マウス接続用のコネクタです。 付属の分配ケーブルにより各デバイスと接続されます。

キーボードとマウスポート コネクタ&ピン配列

No	信号名
1	K.B DATA
2	M.S DATA
3	GND
4	DC 5V+
5	K.B CLOCK
6	M.S CLOCK

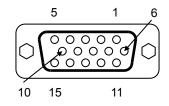


## B Analog RGB ポート(J15)

Analog RGB ディスプレイ接続用コネクタです。

Analog RGB ポート コネクタ&ピン配列

No	信号名	No	信号名	No	信号名
1	RED	6	GND	11	NC
2	GREEN	7	GND	12	DDC-SDA
3	BLUE	8	GND	13	HSYNC
4	NC	9	DC +5V	14	VSYNC
5	GND	10	GND	15	DDC-SCL



本製品で確認した解像度は以下の通りです。

評価ディスプレイ:三菱電機 MDT241WG

True Color(32bit),リフレッシュレート 60Hz

640 x 480	1280 x 768	1600 x 1200
800 x 600	1280 x 960	1680 x 1050
1024 x 768	1280 x 1024	1920 x 1080
1280 x 720	1440 x 900	1920 x 1200

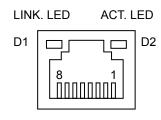
その他の解像度についてはお問合せ下さい。

## C RJ-45 LAN ポート(J13)

LAN 接続用コネクタです。 ネットワークを 1000BASE で運用される場合には、エンハンスドカテゴリー5(CAT5e)もしくは、カテゴリー6(CAT6)のケーブルをご使用ください。

RJ-45 LAN ポート コネクタ&ピン配列

No	信号名
1	MDI0+
2	MDI0-
3	MDI1+
4	MDI2+
5	MDI2-
6	MDI1-
7	MDI3+
8	MDI3-



【 LED: D1, D2 について 】

コネクタの上部に配置されている LED: D1, D2 は以下の動作状態を表示しています。

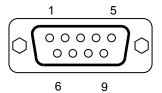
D1 (緑色): リンクされている時に点灯 D2 (黄色): アクティブ中に点滅

#### D シリアルポート(J12)

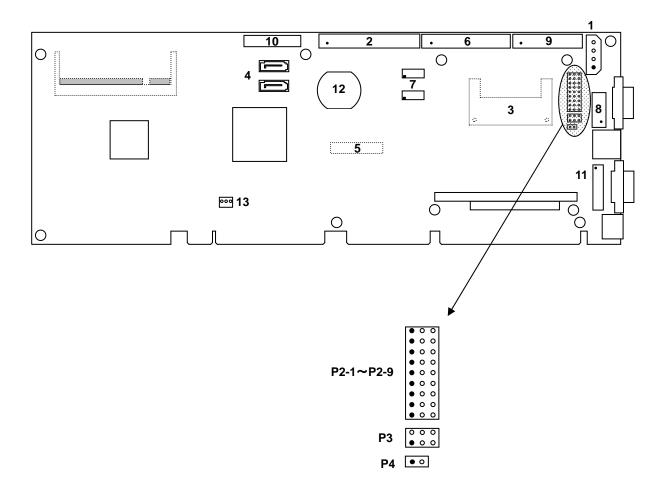
PC 標準シリアルポート(COM1)です。

シリアルポート コネクタ&ピン配列

No	信号名	No	信号名
1	DCD	6	DSR
2	RXD	7	RTS
3	TXD	8	CTS
4	DTR	9	RI
5	GND		



## 2-2 内部のコネクタ



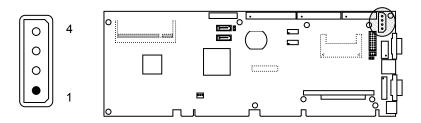
1)	DC-IN	6)	FDD	11)	MISC	P2-1~P2-9	RS232C/422/485 設定
2)	PATA	7)	USB	12)	Battery	Р3	RS232C/422/485 設定
3)	CF	8)	СОМ	13)	<b>CPU FAN</b>	P4	CF M/S 設定
4)	SATA	9)	LPT				
5)	mSATA	10)	LVDS				

#### 1) 電源入力コネクタ(J10)

本製品を単体で使用する場合や低消費電流な周辺装置を接続する際にご使用ください。 電源入力コネクタ(J10)と電源を接続した後、規定範囲電圧を供給してご使用ください。

#### 電源入力コネクタ&ピン配列

No	O	信号名
1		DC +12V
2		GND
3		GND
4		DC +5V



#### 適合コネクタ

ハウジング: 1-480424-0タイコ エレクトロニクス ジャパン合同会社コンタクト: 60619-4タイコ エレクトロニクス ジャパン合同会社電線: AWG 20-14タイコ エレクトロニクス ジャパン合同会社

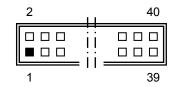
#### 2) PATA コネクタ(J5)

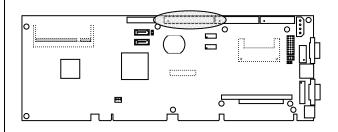
PATA 機器接続用コネクタです。ご使用の際は一般的なフラット IDE ケーブルを使用して下さい。 P12 により後述の CF1 とマスター/スレーブ設定が可能です。

詳細は後述の2-3 ジャンパー設定を参照して下さい。

#### PATA コネクタ&ピン配列

No	信号名	No	信号名
1	RESET	2	GND
3	DATA7	4	DATA8
5	DATA6	6	DATA9
7	DATA5	8	DATA10
9	DATA4	10	DATA11
11	DATA3	12	DATA12
13	DATA2	14	DATA13
15	DATA1	16	DATA14
17	DATA0	18	DATA15
19	GND	20	NC
21	DMA REQ	22	GND
23	IOW	24	GND
25	IOR	26	GND
27	IORDY	28	CSEL
29	DMA ACK	30	GND
31	IRQ	32	NC
33	A1	34	DIAG
35	A0	36	A2
37	CS0	38	CS1
39	IDE ACT	40	GND



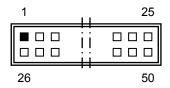


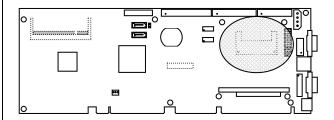
## 3) CF コネクタ(CF1)

Compact Flash 接続用コネクタです。システムの PATA と接続されています。 ご使用の際は True IDE モード対応の CF を使用して下さい。

## CF コネクタ&ピン配列

No	信号名	No	信号名
1	GND	26	NC
2	DATA 03	27	DATA 11
3	DATA 04	28	DATA 12
4	DATA 05	29	DATA 13
5	DATA 06	30	DATA 14
6	DATA 07	31	DATA 15
7	CS0	32	CS1
8	A10 (Low)	33	VS1 (High)
9	ATASEL (Low)	34	IOR
10	A09 (Low)	35	IOW
11	A08 (Low)	36	WE (High)
12	A07 (Low)	37	IRQ
13	DC +5V	38	DC +5V
14	A06 (Low)	39	CSEL
15	A05 (Low)	40	VS2 (High)
16	A04 (Low)	41	RESET
17	A03 (Low)	42	IORDY
18	A02	43	DMA REQ
19	A01	44	DMA ACK
20	A00	45	CF ACT
21	DATA 00	46	DIAG
22	DATA 01	47	DATA 08
23	DATA 02	48	DATA 09
24	NC	49	DATA 10
25	NC	50	GND





\*基板裏面となります。

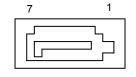
※ 信号名のうち( )表記は、AS-3370G での端子処理を示しています。

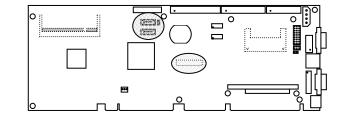
## 4) SATA コネクタ(J3,J4)

SATA 接続用コネクタです。ご使用の際は一般的な SATA ケーブルを使用して下さい。 BIOS の設定及び対応ストレージにより、AHCI モードとして使用が可能です。

## SATA コネクタ&ピン配列

No	信号名
1	GND
2	Tx +
3	Tx -
4	GND
5	Rx -
6	Rx +
7	GND





## 5) mSATA コネクタ(J17)

SSD 接続用コネクタです。

ご使用の場合は、mSATA 専用の SSD モジュールを使用して下さい。

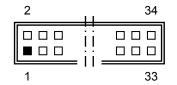
#### 6) FDD コネクタ(J8)

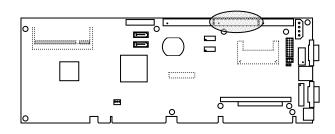
FDD 接続用コネクタです。

ご使用の場合は、一般的な FDD ケーブルを使用して下さい。

FDD コネクタ&ピン配列

No	信号名	No	信号名
1	GND	2	DENSEL0
3	GND	4	NC
5	GND	6	NC
7	GND	8	INDEX
9	GND	10	MTR1
11	GND	12	NC
13	GND	14	DRVSEL1
15	GND	16	NC
17	GND	18	DIRSEL
19	GND	20	STEP
21	GND	22	WD
23	GND	24	WG
25	GND	26	TRK
27	GND	28	WP
29	NC	30	RD
31	GND	32	HDSEL
33	NC	34	DSKCHG



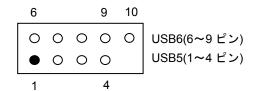


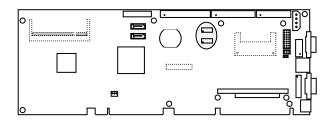
## 7) USB ヘッダ(J6,J7)

USB ヘッダは USB 2.0/1.1 仕様に準拠しています。 USB ヘッダは、オプションのケーブルにより TypeA (2 ポート)に変換する事ができます。

USB ヘッダ&ピン配列

No	信号名	No	信号名
1	DC +5V	6	DC +5V
2	USB –	7	USB -
3	USB +	8	USB +
4	GND	9	GND
5	(NC)	10	NC





#### 8) COM2 コネクタ(J11)

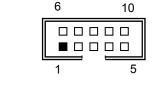
COM2 コネクタは PC 標準シリアルポートです。

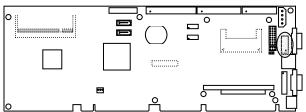
10Pin 2.54mm Pitch Box Header で出力されており、オプションのケーブルにより Dsub 9 ピンに変換することができます。

COM2 は RS232C / RS422 / RS485(半二重)のうち何れか一つの通信方式を選択できます。 詳細は後述の **2-3 ジャンパー設定**を参照して下さい。

COM2 コネクタ&ピン配列

No.	RS-232	RS-422	RS-485
1	DCD	TxD-	DATA-
2	RxD	TxD+	DATA+
3	TxD	RxD+	NC
4	DTR	RxD-	NC
5	GND	GND	GND
6	DSR	NC	NC
7	RTS	NC	NC
8	CTS	NC	NC
9	RI	NC	NC
10	NC	NC	NC



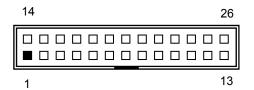


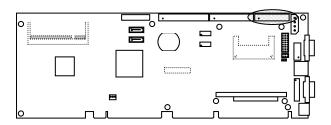
## 9) LPT コネクタ(J9)

SPP / EPP / ECP の 3 モードに対応したパラレルポートです。 各モードの選択は BIOS 設定によって行われ、出荷時は ECP モードに設定されています。 オプションのケーブルにより Dsub 25 ピンに変換することができます。

## LTP コネクタ&ピン配列

No	信号名	No	信号名
1	STROBE	14	AUTOFD
2	DATA0	15	ERROR
3	DATA1	16	INIT
4	DATA2	17	SLCT_I
5	DATA3	18	GND
6	DATA4	19	GND
7	DATA5	20	GND
8	DATA6	21	GND
9	DATA7	22	GND
10	ACK	23	GND
11	BUSY	24	GND
12	PE	25	GND
13	SLCT	26	NC





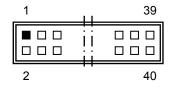
## 10) LVDS コネクタ(J2)

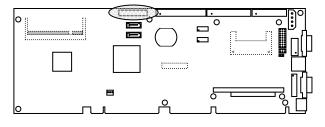
LVDS の LCD ケーブル接続用コネクタです。

本製品からバックライト電源用として DC+12V を供給する場合、バス側もしくはペリフェラル 4pin(J10)から DC+12V の入力が必要です。

## LVDS コネクタ&ピン配列

	Г		
No	信号名	No	信号名
1	DC +3.3V ※1	2	DC +12V %2
3	DC +3.3V ※1	4	DC +12V %2
5	GND	6	DC +5V ※2
7	GND	8	DC +5V ※2
9	LVDS D0-	10	GND
11	LVDS D0+	12	GND
13	GND	14	GND
15	LVDS D1-	16	GND
17	LVDS D1+	18	GND
19	GND	20	GND
21	LVDS D2-	22	GND
23	LVDS D2+	24	GND
25	GND	26	GND
27	LVDS CLK-	28	GND
29	LVDS CLK+	30	P.U. (12V) ※3
31	GND	32	P.U. (12V) ※3
33	P.U. (3.3V) ※3	34	P.U. (5V) ※3
35	P.D. (0V) ※3	36	P.U. (5V) ※3
37	GND	38	P.D. (0V) ※3
39	GND	40	P.D. (0V) %3





- ※1.LCD 用電源
- ※2.バックライト用電源
- %3. P.U.:Pull Up , P.D.:Pull Down

#### 適合電線 AWG26

定格電流 1A

#### 適合コネクタ

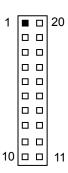
ヘッダー: DF13A-40DP-1.25Vヒロセ電機株式会社ハウジング: DF13-40DS-1.25Cヒロセ電機株式会社コンタクト: DF13-2630SCFAヒロセ電機株式会社

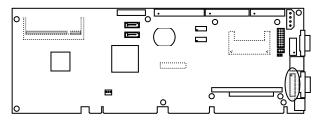
## 11) MISC コネクタ(J14)

各種補助端子を統合したコネクタです。

#### MISC コネクタ&ピン配列

No	信号名	No	信号名
1	Power LED +	20	Reset Switch
2	GND	19	GND
3	NC	18	HDD LED +
4	NC	17	HDD LED -
5	NC	16	NC
6	DC 5V+	15	NC
7	NC	14	Reserve
8	NC	13	GND
9	NC	12	Reserve
10	BEEP SPEAKER	11	GND

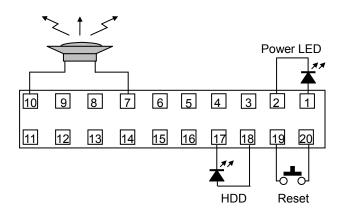




#### MISC コネクタ 信号詳細

信号名	詳細
Power LED +	+5V の電源 LED: 5V が供給されると+から-(GND)に電流が流れます。
HDD LED +, -	HDD へのアクセス時に点灯
Dooot Coultab	外部リセット:この端子を Low(GND)にする事によりシステムをリセットする
Reset Switch	事ができます。スイッチはモーメンタリタイプを使用します。

## MISC コネクタ 参考結線



#### 12) CMOS RAM & RTC バックアップについて

NH82801HBM 内に CMOS RAM と RTC を搭載しています。 この CMOS RAM と RTC は、ボード上のリチウム電池によりバックアップされています。 また、使用済み電池は地域の環境規則に従って処理する必要があります。

電池タイプ コイン型リチウム電池

型式 CR2032 電池容量 220mAh 消費電流 5uA / Typ

計算寿命 220mA÷5uA÷24h÷365d ≒ 5.02y (計算上の寿命です。保証寿命では有りません。)

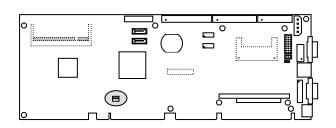
#### 13) CPU FAN コネクタ(J17)

DC+12V CPU FAN 接続コネクタです。 必要に応じて CPU FAN を接続し CPU を冷却して下さい。 ご使用の際は、バス側もしくはペリフェラル 4pin(J10)から DC+12V の入力が必要です。

CPU FAN コネクタ&ピン配列

No	信号名	
1	GND	
2	+12V DC	
3	FAN SIG	





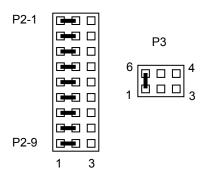
#### 2-3 ジャンパー設定

#### P2&P3 COM2 の設定

COM2 の通信方式の設定は、ボード上のジャンパー: P2 及び P3 で行います。

#### 【 RS232C の設定 】

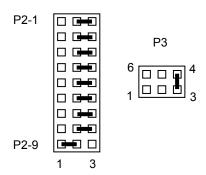
出荷時は、この RS232C の設定です。



P2-1	1-2 SHORT	P2-6	1-2 SHORT
P2-2	1-2 SHORT	P2-7	1-2 SHORT
P2-3	1-2 SHORT	P2-8	1-2 SHORT
P2-4	1-2 SHORT	P2-9	1-2 SHORT
P2-5	1-2 SHORT		

Р3 1-6 SHORT

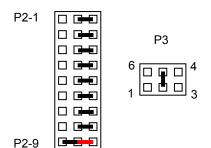
#### 【 RS422 の設定 】



P2-1	2-3 SHORT	P2-6	2-3 SHORT
P2-2	2-3 SHORT	P2-7	2-3 SHORT
P2-3	2-3 SHORT	P2-8	2-3 SHORT
P2-4	2-3 SHORT	P2-9	1-2 SHORT
P2-5	2-3 SHORT		

Р3 4-3 SHORT

## 【 RS485 の設定 】



P2-1	2-3 SHORT	P2-6	2-3 SHORT
P2-2	2-3 SHORT	P2-7	2-3 SHORT
P2-3	2-3 SHORT	P2-8	2-3 SHORT
P2-4	2-3 SHORT	P2-9	1-2 SHORT
P2-5	2-3 SHORT	(P2-9)	2-3 SHORT

※上記()は終端の場合

Р3 2-5 SHORT

#### CF1 マスター/スレーブ切替 Ρ4

1

CF1 のマスター/スレーブの切替えはジャンパー: P4 で設定します。

P4:1-2:SHORT (CF1 をマスターとする場合) **1** 2

P4:1-2:OPEN (CF1 をスレーブとする場合)

#### 3 SYSTEM BIOS

Phoenix AwardBIOS を搭載しています。

#### 【 BIOS 設定メニューへの移行 】

電源投入後下記画面が表示されている間に<Del>キーを押すと BIOS の設定モードに移行します。 OS が起動してしまった場合は、再起動してやり直して下さい。



#### BIOS の設定モード画面

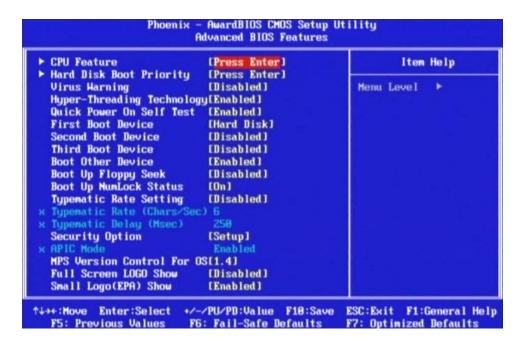


## 3-1 BIOS 設定: Standard CMOS Features

Date (mm:dd:yy)	Sat, Jan 1 2011	Item Help
Time (hh:mm:ss)  IDE Channel 0 Master  IDE Channel 0 Slave  IDE Channel 2 Master  IDE Channel 2 Slave  IDE Channel 3 Master  Drive A  Video Halt On  Base Memory Extended Memory Total Memory	8:8:8  [ None] [ None] [ None] [ None] [ None] [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]  [ None]	Menu Level ►  Change the day, month year and century

項目	パラメータ	説明
Date	[MM/DD/YYYY]	システムの日付設定をします。
Time	[HH/MM/SS]	システムの時刻設定をします。
IDE Channel XXX		デフォルトは[AUTO]に設定してあり 起動時に認識したドライブを表示します。
Drive A	[None] [1.44M,3.5in.]	FDD の設定をします。
Video	[EGA/VGA]	デフォルト[EGA / VGA]でご使用ください。
Halt On	[All Errors] [No Errors] [All but Keyboard] [All but Disk / Key]	起動エラー時の動作を設定します。
Base Memory	639K	コンベンショナルメモリー容量を表示します。
Extended Memory	xxxx K	拡張メモリ容量を表示します。
Total Memory	xxxx K	メモリ容量の合計を表示します。

#### 3-2 BIOS 設定: Advanced BIOS Features



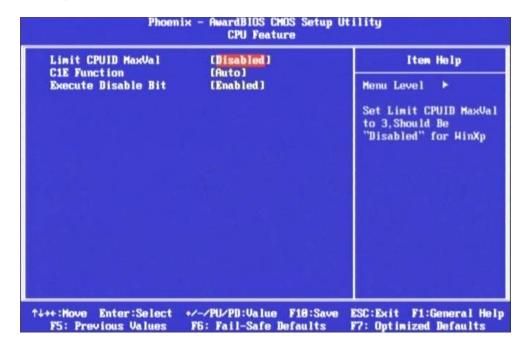
項目	パラメータ	説明
CDLL Factories		この項目にカーソルをあわせて[Enter]を押すとサブメニュー
CPU Feature		の設定画面になります。詳細は次ページ以降を参照して下さい。
Lland Dials Book Dwinnits		この項目にカーソルをあわせて[Enter]を押すとサブメニュー
Hard Disk Boot Priority		の設定画面になります。詳細は次ページ以降を参照して下さい。
Virus Marring	[Disabled]	ディスクのブートセクタに対する保護機能の設定をします。
Virus Warning	[Enabled]	ディスクのノートピクダに対する休護機能の設定をします。
Hyper-Threading	[Disabled]	ハイパースレッディング機能を設定します。
Technology	[Enabled]	Enabled(オン)、Disabled(オフ)となります。
Oviels Dayyor On Colf Toot	[Disabled]	BIOS 起動時の自己診断テストの設定をします。
Quick Power On Self Test	[Enabled]	[Enabled]に設定すると起動時間が短縮されます。
	[Floppy]	
First Boot Device	[Hard Disk]	
Second Boot Device	[CDROM]	システムのブート順を設定します。
Third Boot Device	[USB-FDD]	
	[Disabled]	
Boot Other Device	[Disabled]	トミハタのデバノフにトフね動が可能によりたます
Boot Other Device	[Enabled]	上記以外のデバイスによる起動が可能になります。 
Boot Un Floren Cook	[Disabled]	「Cookled」を選択するとお動味に CDD のこっただいます
Boot Up Floppy Seek	[Enabled]	[Enabled]を選択すると起動時に FDD のシークを行います。
Poot Un Numl ook Ctatus	[Off]	ナ ボ ドの Numl ock ナ の[On] [Off]を認切し ナナ
Boot Up NumLock Status	[On]	キーボードの NumLock キーの[On] [Off]を選択します。
Typomatic Data Cotting	[Disabled]	キー入力の速度を設定します。接続されたキーボードに決定さ
Typematic Rate Setting	[Enabled]	せるか、マニュアル設定を選択できます。

<sup>\*</sup>Hyper-Threading Technology は[Enabled]となっていますが、

Power Management Setup の ACPI Function を[Enabled]に設定しなければ有効にはなりません。

項目	パラメータ	説明
Socurity Option	[Setup]	BIOS でパスワードを設定した場合に有効になる機能です。
Security Option	[System]	BIOS Cハスフートを設定した場合に有効になる機能です。
APIC Mode	[Disabled]	拡張割込み機能を設定します。Hyper-Threading
APIC Mode	[Enabled]	Technology を[Enabled]の場合は設定出来ません。
MDC Varsian Control For OC	[1.1]	OS が使用する MPS(Multi Processor Specification)のバー
MPS Version Control For OS	[1.4]	ジョンを設定します。
Full Screen LOGO Show	[Disabled]	起動時に LOGO 画面を表示させるか否かの設定です。
Full Screen LOGO Show	[Enabled]	デフォルトでは LOGO 画面の表示は出来ません。
Small Logo(EDA) Show	[Disabled]	起動時に Small Logo を表示させるか否かの設定です。
Small Logo(EPA) Show	[Enabled]	(22ページの BIOS 設定メニューへの移行画面は[Enabled])

#### 3-2-1 BIOS 設定: CPU Features



項目	パラメータ	説明
Limit CPUID MaxVal	[Disabled]	CPUID 命令数を制限するしないの設定です。Windows2000
LITTIC CPOID Maxvai	[Enabled]	以降の OS はデフォルト[Disabled]でご使用下さい。
C1E Eurotion	[Auto]	タスクを実行してない時、消費電力を抑えた状態に移行しま
C1E Function	[Disabled]	す。
Evenute Disable Bit	[Enabled]	CPU が備えるメモリ保護機能の設定をします。
Execute Disable Bit	[Disabled]	対応 OS をご使用下さい。

#### 3-2-2 BIOS 設定: Hard Disk Boot Priority



この項目は接続された Boot 可能なデバイスが表示されます。 Boot 可能なデバイスが複数ある場合は、優先順位を設定する事が出来ます。

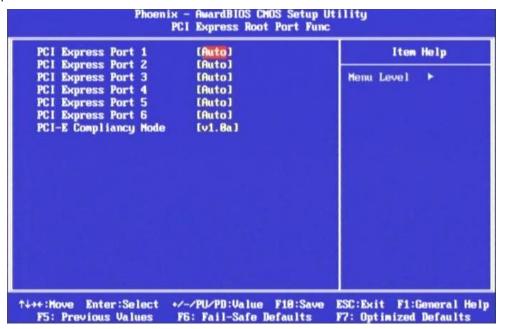
## 3-3 BIOS 設定: Advanced Chipset Features



項目	パラメータ	説明
		メモリ領域へのキャッシュを選択します。
Cystom PIOC Cashoable	[Disabled]	一般的に[Enabled]にするとパフォーマンスが向上します。
System BIOS Cacheable	[Enabled]	ただし、プログラムによってこのメモリ領域に書き込みが行わ
		れるとシステムエラーが発生する場合があります。
Mamanullala At 15M 16M	[Disabled]	大制ロボルニフェルト「Diesblod」ででは田エナい
Memory Hole At 15M-16M	[Enabled]	本製品ではデフォルト[Disabled]でご使用下さい。
DCI Frances Deat Port France		PCI Express Port の設定をします。
PCI Express Root Port Func		詳細は次ページを参照して下さい。
On Chin France Buffor City	[1MB]	内蔵グラフィックが使用するメモリの最小予約値です。
On-Chip Frame Buffer Size	[8MB]	[1MB][8MB]から選択できます。
DVMT Mode	[Disabled]	   内蔵グラフィックのメモリ制御を設定します。
DVM1 Mode	[Enabled]	内臓グラブイックのメモグ制御を設定します。
Total CEV Momony	[128MB]	内蔵グラフィックに割り当てる最大メモリサイズを設定しま
Total GFX Memory	[256MB]	す。
	[Auto]	POST 中に起動するビデオデバイスを選択します。
Root Diaplay	[CRT]	[Auto]は Video BIOS のデフォルト設定に従います
Boot Display	[LFP]	[CRT]は CRT のみ表示します。[LFP]は LVDS のみ表示します。
	[CRT+LFP]	[CRT+LFP]は両方に表示します。
	[Auto]	
Panel Scaling	[On]	デフォルト[Auto]でご使用下さい。
	[Off]	

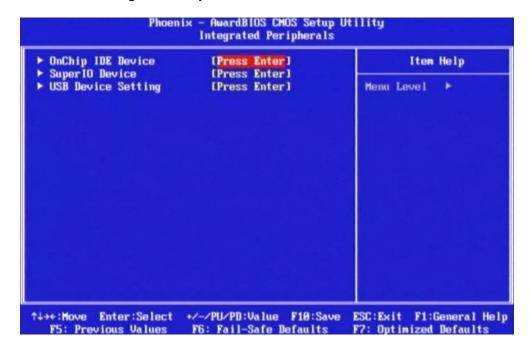
項目	パラメータ	説明
Panel Number	[1] [2] [3]	接続される LCD の解像度を選択します。 [1]640x480、[2]800x600、[3]1024x768 となります。

#### PCI Express Root Port Func



項目	パラメータ	説明
	[Auto]	
PCI Express Port 1	[Enabled]	
	[Disabled]	
	[Auto]	
PCI Express Port 2	[Enabled]	
	[Disabled]	PCIE ポートを以下の様に設定ができます。
	[Auto]	
PCI Express Port 3	[Enabled]	[Auto] デバイスが存在する場合のみ有効
	[Disabled]	[Enabled] 有効
	[Auto]	[Disabled] 無効
PCI Express Port 4	[Enabled]	
	[Disabled]	「PCI Express Port 1」を無効にした場合、
	[Auto]	全てのポートが無効になります。
PCI Express Port 5	[Enabled]	
	[Disabled]	
	[Auto]	
PCI Express Port 6	[Enabled]	
	[Disabled]	
DCI E Compliancy Mode	[v1.0a]	大制ロッけニコャルトによりつファブは田エナい
PCI-E Compliancy Mode	[v1.0]	本製品ではデフォルト[v1.0a]でご使用下さい。

## 3-4 BIOS 設定: Integrated Peripherals



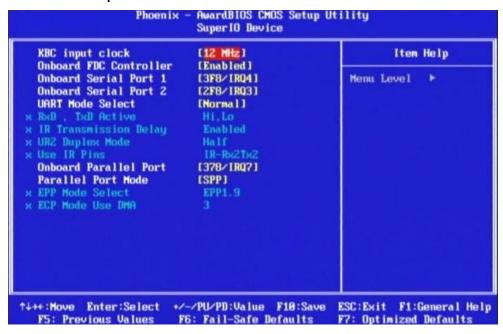
項目	パラメータ	説明
OnChip IDE Device		サブメニューとなります。次ページ参照
SuperIO Device		サブメニューとなります。次ページ以降参照
USB Device Setting		サブメニューとなります。次ページ以降参照

#### 3-4-1 BIOS 設定: OnChip IDE Device



接続される IDE デバイスの設定を行うメニューです。 基本的にはデフォルトの状態でご使用いただけます。

#### 3-4-2 BIOS 設定: SuperIO Device



項目	パラメータ	説明	
	6MHz		
KBC input clock	8 MHz	キーボードによって設定を変更する必要があります。	
	12 MHz		
	16 MHz		
Onboard FDC Controller	[Disabled]	ボード上のフロッピーディスクコントローラを使用するか	
Oliboard FBC Controller	[Enabled]	しないかを設定します。	
	[Disabled]		
	[3F8/IRQ4]		
Onboard Serial Port 1	[2F8/IRQ3]	フドレフ / 割り ひた乳空に 土土	
Onboard Serial Port 2	[3E8/IRQ4]	アドレス / 割込みを設定します。	
	[2E8/IRQ3]		
	[Auto]		
	[IrDA]	IrDA:最大 115.2Kbps の赤外線シリアル通信が可能です。	
UART Mode Select	[ASKIR]	ASKIR:最大 57.6K bps の赤外線シリアル通信が可能です。	
	[Normal]	Normal:ノーマルモードに設定します。	
	[Disabled]		
Onboard Parallel Port	[378/IRQ7]		
Onboard Parallel Port	[278/IRQ5]	アドレス / 割込みを設定します。	
	[3BC/IRQ7]		

#### 3-4-3 BIOS 設定: USB Device Setting



項目	パラメータ	説明
USB x.0 Controller	[Disabled]	ボード上の USB コントローラの設定です。
USB X.0 CONTROller	[Enabled]	通常は[Enabled]でご使用下さい。
USB Operation Mode	[Full/Low Speed]	USB のモードを設定します。
USB Operation Mode	[High Speed]	[Full/Low Speed](USB1.1)、[High Speed](USB2.0)となります。
USB Keyboard Support	[Disabled]	   DOS 環境での USB キーボードの有効/無効を設定します。
USB Mouse Support	[Enabled]	DOS 境境との OSB キーボートの有効/無効を設定します。 
LICE Storage function	[Disabled]	DOS 環境での USB ストレージデバイスの有効/無効を設定します。
USB Storage function	[Enabled]	DU3

\*\*\* USB Mass Storage Device Boot Setting \*\*\*
USB Storage function を[Enabled]にする事により USB 機器からのブートが可能です。
以下は UFD を接続した場合の一例です。

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility **USB Device Setting** USB 1.0 Controller Item Help [Enabled] USB 2.0 Controller [Enabled] USB Operation Mode USB Keyboard Function [High Speed] Menu Level [Enabled] USB Mouse Function [Enabled] [Enable] or [Bisable] **USB Storage Function** [Enabled] Legacy support of USB Mass Storage. \*\*\* USB Mass Storage Device Boot Setting \*\*\* Corsair UFD 1100 [Auto mode] ↑↓→+: Hove Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F6: Fail-Safe Defaults F7: Optimized Defaults F5: Previous Values

#### 3-5 BIOS 設定: Power Management Setup



項目	パラメータ	説明
ACPI Function	[Enabled] [Disabled]	ACPI 機能の選択を行います。 [Disabled]の場合、仕様上性能がスポイルされます。
ACPI Suspend Type	[S1(POS)]	ACPI サスペンド方法の選択をします。 [S1(POS)]は電源 ON サスペンドとなります。
Power Management	[User Define] [Min Saving] [Max Saving]	パワーマネージメントの方法を設定します。
Video Off Method	[Blank Screen] [V/H SYNC+Blank] [DPMS]	ビデオ OFF 方式を選択します。 [Blank Screen] VRAM にブランクが書込まれます。 [V/H SYNC+Blank] 同期信号 OFF + VRAM にブランクが書込まれます。 [DPMS] DPMS 機能を使用したビデオ電源管理を行います。
Video Off In Suspend	[No] [Yes]	サスペンド時のモニタ OFF を設定します。
Suspend Type	[Stop Grant] [PwrOn Suspend]	サスペンド方式を設定します。
MODEM Use IRQ	[NA] [3] etc	電源管理に利用するモデムの IRQ を選択できます。
Suspend Mode	[Disabled] [1Min]etc	選択した設定時間以上、操作が行われない場合にサスペンド モードになります。

項目	パラメータ	説明
HDD Power Down	[Disabled]	選択した設定時間以上、操作が行われない場合に HDD が OFF モード
HDD Power Down	[1Min]etc	になります。

\* Windows を使用し ACPI Function を[Disabled]に設定した場合、シャットダウン時に以下の画像が表示されます。



## 3-6 BIOS 設定: PnP/PCI Configurations

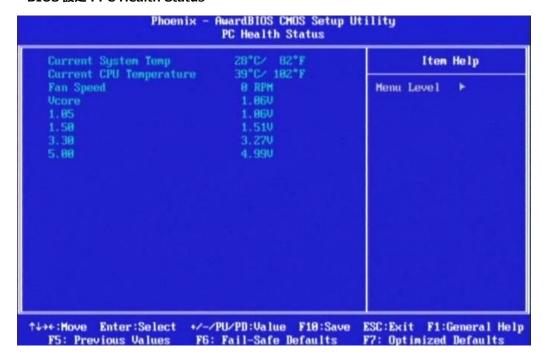
Init Display First	[Onboard]	Item Help	
Reset Configuration Data  Resources Controlled By IRQ Resources DMA Resources  PCI/UGA Palette Snoop INT Pin 1 Assignment INT Pin 2 Assignment INT Pin 3 Assignment INT Pin 4 Assignment INT Pin 5 Assignment INT Pin 6 Assignment INT Pin 7 Assignment INT Pin 8 Assignment	[Manual] [Press Enter] [Press Enter]  [Bisabled] [Auto]	Henu Level ►	

項目	パラメータ	説明
Reset Configuration Data	[Disabled]	CMOS RAM に記録されている Plug & Play に関する情報を、次回
Reset Configuration Data	[Enabled]	起動した際にリセットするかどうかを設定します。
Resources Controlled By	[Auto(ESCD)]	[Manual]に設定すると IRQ Resources が有効になり、この項目内
	[Manual]	で使用禁止にしたい IRQ を指定する事ができます。
PCI/VGA Palette Snoop	[Disabled]	VGA パレットレジスタの Snoop 機能を選択します。キャプチャカ
PCI/VGA Palette S1100p	[Enabled]	ード等の条件によりますが、通常は[Disabled]にしてください。
INT Din 1 a Q Assignment	[Auto]	PCI BUS の割込みを手動で設定する項目です。
INT Pin 1~8 Assignment	[3]etc	通常は[Auto]にしてください。
Maximum Payload Size	[128]	デフォルト[128]で使用して下さい。

assigned	[PCIZISA PnP]	Item Help
assigned assigned	[PCI/ISA PnP] [Legacy ISA]	Menu Level ▶
assigned	[PCI/ISA PnP]	
assigned	[PCI/ISA PnP]	Legacy ISA for device
assigned	[Legacy ISA]	compliant with the
assigned	IPCI/ISA PnPJ	original PC AT bus
assigned assigned	[PCI/ISA PnP] [PCI/ISA PnP]	specification, PCI/IS PnP for devices
assigned	[PCI/ISA PnP]	compliant with the Plug and Play standar whether designed for PCI or ISA bus architecture

<sup>\*</sup>製品出荷時は上記設定となっています。

#### 3-7 BIOS 設定: PC Health Status



CPU ボードの状態を表示します。

## 3-8 BIOS 設定: Frequency / Voltage Control



スペクトラム拡散により EMI を減少させる事ができます。